

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞ 動態胸部 X 線撮影を利用した肺癌術前胸壁浸潤・癒着評価と周術期呼吸機能変化についての検討
＜研究機関・研究責任者名＞ 日本大学医学部附属板橋病院 呼吸器外科 （研究責任者）櫻井 裕幸
＜研究期間＞ 承認日 ～ 令和 （西暦 2026）年 12 月 31 日
＜対象となる方＞ 西暦 2022 年 1 月 1 日 ～ 西暦 2024 年 12 月 31 日の期間に当院呼吸器外科で手術治療を行われた方
＜研究の目的＞ 近年、動画構成される胸部 X 線（レントゲン）撮影技術が開発されました。X 線動画撮影は連続するパルス状の X 線を一定時間（15 秒間）連続照射することによりコマ撮りした画像を連続表示することで動画を作成します。パルス状の X 線は比較的低線量（計 1.5mGy）で撮影ができ、従来の胸部 X 線単純正面＋側面撮影の約 1.9mGy より低被爆で、簡便に X 線動画像を撮影することが可能です。2021 年度に当院にも X 線動画撮影装置が導入されました。手術前後に撮影した X 線動画と実際の術中所見、術後の肺機能検査などを比較検討し、手術前から胸腔内の癒着の状況、腫瘍の浸潤の有無や手術後の肺機能の変化について、X 線動画で予測できないか研究しています。
＜研究の方法＞ 当院で肺手術を行われた患者様で、術前や術後に撮影した X 線動画や肺機能検査、実際の手術所見を確認して研究を行います。

<研究に用いる試料・情報の項目>

研究対象者について、下記の臨床情報を診療録より取得します。

- ① 臨床所見（年齢、性別、身長、体重、病歴に関する情報（既往歴、喫煙歴など）、臨床病期）
- ② 検査所見（動態X線、CT検査、肺機能検査など）
- ③ 病理学的所見
- ④ 治療（手術日、術式、手術時間、出血量）

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）

呼吸器外科

氏名：櫻井 裕幸

電話：03-3972-8111 内線：（医局）2463 （PHS）8180

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方